

帯広畜産大学 基金報告

第13号
(令和4年度)



北海道国立大学機構
帯広畜産大学

目 次

学長挨拶	1
帯広畜産大学基金受入状況	2
令和4年度収支決算	3
学生修学支援事業基金	
令和4年度大学基金奨学生との懇談会を開催	4
基金奨学生からの感謝の言葉	5
大学運営支援事業基金	
ちくだいらんぷ事業（学生による社会貢献事業）	13
その他	
ちくだいホームカミングデー 2022を開催	16
寄附者ご芳名	17
感謝状の贈呈	21
帯広畜産大学大学基金運営委員会委員名簿	22
帯広畜産大学基金関連規程	23

学長挨拶

日頃より皆様には，帯広畜産大学の教育・研究活動に対するご理解と温かいご支援を賜り，深く感謝申し上げます。

また，帯広畜産大学基金事業にも多大なるご協力を賜り，重ねて厚くお礼申し上げます。

令和4年度は，新型コロナウイルス感染症の蔓延の影響や物価高など，大変厳しい社会情勢が続く状況にもかかわらず，皆様からは前年度と変わらぬご支援を賜りました。ご支援いただきました寄附金は，経済的に困窮している成績優秀な学生への奨学金給付，授業料・入学料免除等の学生修学支援事業や学生による地域での社会貢献活動である「ちくだいらんぷ事業」への助成等を行う大学運営支援事業の実施に大切に使用させていただき，令和4年度の帯広畜産大学基金事業が無事に実施できましたことを，ここにご報告させていただきます。

近年は，同窓生の皆様，保護者の皆様，企業等の皆様など，多くの方々に賛助会員にご加入いただき，継続的なご支援をいただいて，安定した財政基盤を築くことが出来ております。基金事業が末永く実施できますよう，趣旨にご賛同いただき，是非とも帯広畜産大学基金への継続的なご支援にご協力くださいますようお願い申し上げます。

帯広畜産大学基金では，今後も意欲と能力のある学生が学びの機会を諦めることがないよう，未来を担う学生たちへの支援をさらに充実させるとともに，老朽化した施設の改修等による修学環境の整備助成などに大学基金を積極的に活用させていただきます。

つきましては，引き続き皆様からのご支援を賜りたく，重ねてご協力をお願い申し上げます。

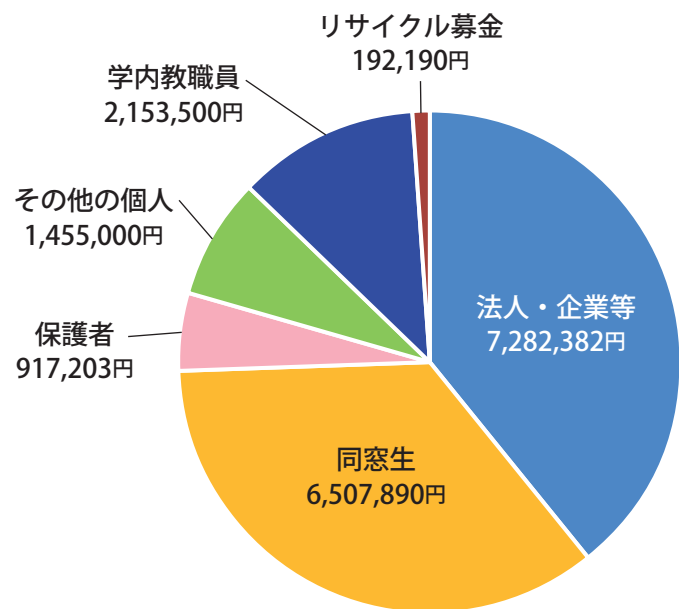


国立大学法人北海道国立大学機構
帯広畜産大学長 長 澤 秀 行

帯広畜産大学基金受入状況

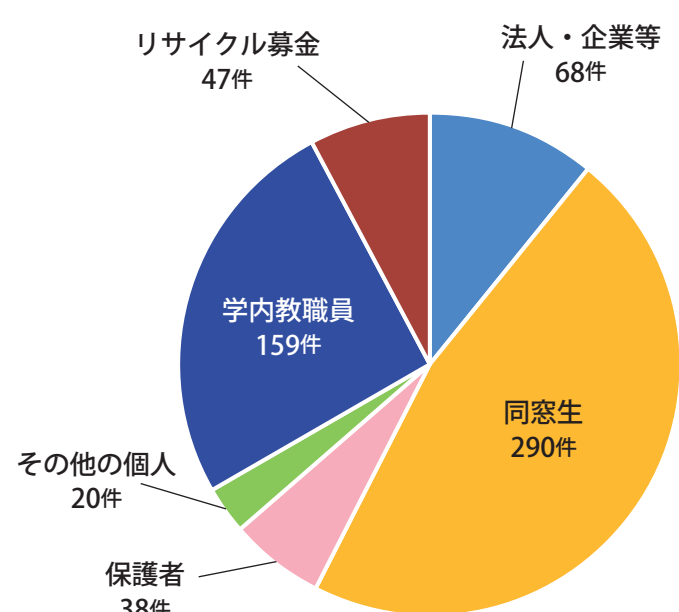
令和 5 年 3 月 31 日現在

令和 4 年度寄附金額



	令和 3 年度	令和 4 年度
法人・企業等	7,265,185円	7,282,382円
同窓生	6,648,000円	6,507,890円
保護者	1,460,000円	917,203円
その他の個人	411,000円	1,455,000円
学内教職員	2,980,346円	2,153,500円
リサイクル募金	131,916円	192,190円
合 計	18,896,447円	18,508,165円

令和 4 年度寄附件数



	令和 3 年度	令和 4 年度
法人・企業等	71件	68件
同窓生	326件	290件
保護者	52件	38件
その他の個人	17件	20件
学内教職員	170件	159件
リサイクル募金	62件	47件
合 計	698件	622件

令和4年度 収支決算

収入の部

(単位：千円)

区 分	件 数	金 額
法 人 ・ 企 業 等	68 件	7,282
同 窓 生	290 件	6,507
保 護 者	38 件	917
そ の 他 個 人	20 件	1,455
教 職 員	159 件	2,154
リサイクル募金	47 件	192
小 計	622 件	18,508
利 息 収 入 等	—	3,000
合 計	622 件	21,508

支出の部

(単位：千円)

項 目		金 額
学生修学支援事業基金		
授 業 料 等 免 除 事 業	授業料免除 8 名，入学料免除 4 名	2,735
学 資 給 付 事 業	学部生12名，大学院生 7 名	8,520
小 計		11,255
大学運営支援事業基金		
社会貢献活動支援事業	畜大生による地域貢献活動である「ちくだいらんぷ」事業への支援	254
小 計		254
合 計		11,509

(単位：千円)

令和4年度現預金残高	期 首	308,544
	期 末	318,544

令和4年度大学基金奨学生との懇談会を開催

令和4年11月24日（木）に、令和4年度帯広畜産大学基金奨学生との懇談会を開催しました。

帯広畜産大学基金では、学生修学支援事業として、経済的理由によって修学に困難がある学業成績が優秀な学生を対象に、学資給付事業や授業料等免除事業を実施しています。この懇談会は、同奨学生に大学基金の趣旨を理解していただき、有効に活用してもらうことを目的に開催しているものです。

はじめに、福島副学長から「本奨学金は同窓生や地域の方々、教職員等、様々な皆様のご支援によって成り立っており、ご寄附をいただいた皆様への感謝の気持ちを忘れずに勉学に励むとともに、大学生活を謳歌していただければと思います」と挨拶があった後、学生との懇談が行われました。

懇談では、学生から「アルバイトの時間を減らし、研究活動に集中する時間を確保することができた」「時間的な余裕と精神的な余裕を持つことができた」「基金へ寄附してくださっている皆様のことを思い浮かべてモチベーションを高めながら、日々頑張りたい」などの基金奨学金に対する感謝の言葉がありました。

懇談会の終わりには、福島副学長から「今後の大学生活においても、勉学や課外活動など様々なことに取り組み、卒業後には本学や後輩のことを想い、行動していただきたい」と期待を込めた激励の言葉がありました。



福島副学長（前列中央）、野並学長補佐（後列左）と基金奨学生

基金奨学生・授業料免除学生からの感謝の言葉

「ご支援いただいた皆様へ感謝し、今後もより一層勉学に励みます。」

畜産学部畜産科学課程 1 年 角谷 夏望



この度は帯広畜産大学基金奨学生に採用していただき、誠にありがとうございます。本奨学金のおかげで金銭的な負担が減り、学業に集中することができています。私は、食を通して誰かの支えになりたいという思いで入学しました。高校までの勉強とは異なり、講義では、明確な答えの無い問題に対して、考えることに日々楽しさを感じております。現在は特に、安全で生産性の高い畜産物の生産方法に興味を持ち、希望のユニットに進むために勉強をしています。ご支援いただいた皆様へ感謝し、今後もより一層勉学に励みます。

「この約一年間、貴重な経験ができたのは支援をしてくださる皆様のおかげです。」

畜産学部畜産科学課程 1 年 佐藤 香月



この度は、帯広畜産大学基金の奨学生に採用していただき、ありがとうございます。昨年 4 月から帯広畜産大学に入学し、まもなく一年が経とうとしています。講義やサークル活動などを通し、十勝の農業についての知識を自分の身をもって学ぶことができました。自分一人では知ることのできない世界を見ることができたとても貴重な一年間でした。また、奨学生として採用していただいたことで必要以上にアルバイトの時間を増やすことなく勉学に励むことができました。この約一年間、こうして貴重な経験ができたのは支援をしてくださる皆様のおかげです。これからも皆様への感謝を忘れずに大学生活を送っていききたいと思います。ご支援いただいたすべての方々に心から感謝いたします。

「時間的余裕ができたおかげで、有意義な学生生活を送ることができました。」

畜産学部畜産科学課程 3 年 江口 夏帆



この度は、帯広畜産大学基金奨学生に採用していただきありがとうございます。3 年後期より研究室に配属され、来年度からは本格的に研究を開始いたします。4 年生からは、マンガリツツア豚に関する研究をしたいと考えています。私は、コロナ禍での入学でした。当初はオンラインでの授業が多い学生生活でした。しかし、今年は制限が緩和され、対面授業を受けることができ、嬉しいかぎりです。実習では、実践的な畜産学を学ぶことができ、この大学に入学してよかったと日々感じています。奨学金をいただき、時間的余裕ができたおかげで、有意義な学生生活を送ることができました。これからの学生生活も、十勝の大自然を感じながら楽しく過ごしていきます。

「ご支援くださった皆様への感謝を忘れず、より一層勉学に励んでいきたいと思っています。」

畜産学部畜産科学課程 3 年 山川 綾華



この度は帯広畜産大学基金奨学金奨学生として採用していただきまして誠にありがとうございます。ご支援いただけたおかげでバイトのシフトを以前よりも減らすことができ、勉学に集中しさらにFSCの和牛の飼養管理をするサークルの活動に参加する頻度を増やすこともできました。私は撫教授の研究室に所属しており、卒業論文では昨年行われた全国和牛能力共進会で得た北海道の24ヵ月齢肥育牛のデータを用いて、早期肥育をするうえでどのような飼料の給与方法がいいのか分析する予定です。これからもご支援くださった皆様への感謝を忘れず、より一層勉学に励んでいきたいと思っています。本当にありがとうございました。

「両親への負担と経済面での不安が無くなり、充実した学校生活を送ることができています。」

畜産学部畜産科学課程3年 大澤 萌



この度は昨年度に引き続き、帯広畜産大学基金奨学生として採用していただき、誠にありがとうございます。頂いた奨学金はすべて学費の方に充てさせていただいております。ご支援くださった皆様には、心より感謝申し上げます。本奨学金を頂けているおかげで、両親への負担と経済面での不安が無くなり、充実した学校生活を送ることができています。また、アルバイトの時間を減らして勉学に充てることができたおかげで、第一希望の野生動物研究室に所属することが出来ました。今後は、ヒグマなどの野生動物と人との共存について研究したいと考えております。今回ご支援くださった皆様には重ねてお礼申し上げます。ありがとうございました。

「今後ともご支援いただいた方々への感謝を忘れずに、精進して参ります。」

畜産学部畜産科学課程4年 笹山 航弥



この度は、前年度に続き、帯広畜産大学基金の奨学生に採用していただき、ありがとうございます。私は三つ子であるため、両親に金銭的な負担をかけられないと思い、今回申請させていただきました。奨学金のおかげでその心配も軽くなり、より学業に集中することができるようになりました。いただいた奨学金は、生活費等に使用させていただきたいと考えています。私は、日本酒中の乳酸菌に関する研究を行っており、大学構内の碧雲蔵にて製造される「山廃酀における乳酸菌の由来と安定性」について調査しています。最後になりますが、今後ともご支援いただいた方々への感謝を忘れずに、精進して参ります。この度は本当にありがとうございました。

「卒業研究や報告会の準備に集中して取り組むことができました。」

畜産学部畜産科学課程4年 石原和可菜



この度は帯広畜産大学基金の奨学生として採用いただきまして、誠にありがとうございます。私は農業経済学ユニットに所属しており、北海道における菓子消費の動向と製菓業の特徴をテーマとして卒業研究を進めております。本奨学金のおかげでアルバイトの時間を減らすという選択をすることができましたので、卒業研究や報告会の準備に集中して取り組むことができました。教授にご指導いただき、友人とともに学生生活を送ることができたことに大変感謝しております。卒業後もこの気持ちを忘れずに、社会人として努力してまいります。最後になりますが、ご支援いただいた方々に心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

「皆様の支援でできた貴重なチャンスを逃さないように日々努力していきたいと思えます。」

畜産学部畜産科学課程4年 中山 睦美



この度は昨年に引き続き、帯広畜産大学基金奨学生に採用していただき、誠にありがとうございます。家庭の負担を減らすこと、自分の本当にやりたいことをやる為に本奨学金制度のことを知り申請いたしました。たくさんの方の力添えをいただき、植物病理の研究室で日々北海道の温泉水を使った植物防除についての卒業研究を進めています。自分の研究がいつかどこかで役に立って欲しいと願っております。奨学生に採用された事により、週5日で働いていたアルバイトの時間を週3日まで減らし、その分さまざまな資格取得のための勉強時間や研究時間にあてることができました。皆様の支援でできた貴重なチャンスを逃さないように日々努力していきたいと思えます。

「卒業後は社会人としてこの基金奨学金を支える一員になりたいと考えています。」

畜産学部畜産科学課程 4 年 中村 晶子



昨年に引き続き、帯広畜産大学基金奨学金に採用していただき誠にありがとうございます。本奨学金のおかげで学業に集中することができ、無事に卒業論文発表会を終えることができました。3 年次から所属しております家畜繁殖学の研究室では先生のご指導のもと、「卵丘卵母細胞複合体の性状が対外成熟培養に及ぼす影響」の研究に取り組み、卵丘細胞の質や量が培養中に卵子の成熟や酸化ストレスに違いをもたらすのかを実験してきました。現在はその内容と結果を基に、英語で卒業論文を執筆しています。残り少ない大学生活となりましたが、楽しむことを忘れずにやるべきことはやり切り、卒業後は社会人としてこの基金奨学金を支える一員になりたいと考えています。

「学業に集中して時間と労力を割くことができ、充実した日々を送っております。」

畜産学部共同獣医学課程 4 年 三坂麟太郎



帯広畜産大学基金を通して私の学生生活をご支援いただきまして、感謝申し上げます。おかげさまで、学業に集中して時間と労力を割くことができ、充実した日々を送っております。私は現在、ヒトや動物の医学や畜産の問題を統計の問題に置き換えて解決を試みる研究室に所属しています。まだ本格的な研究には取り組めていませんが、研究多変量解析入門-線形から非線形へ- [小西貞則, 2009]を用いて基礎的な統計学の知識の習得に励んでいます。将来的には、ヒトやマウスの画像データを用いたイヌやネコの健康状態の判定方法の確立などに取り組んで行きたいと考えております。再度、帯広畜産大学基金による金銭的なご支援により私の学生生活を支えていただきましたこと、心より感謝申し上げます。

「心のゆとりにつながり、そのおかげで安心して勉学に専念できています。」

畜産学部共同獣医学課程 4 年 谷地田桃子



今年度、奨学金を受けることができ、とても助かりました。ありがとうございます。昨年の12月から研究室へ配属されまして、産業動物外科学教室に所属することとなりました。こちらの研究室では、外科手術だけではなく、畜産業における世界的な状況についても知見を深めていっております。普段の授業に加え、研究室の活動も増えて、忙しく充実した毎日を過ごしております。奨学金のおかげで、得られた経済的な余裕は心のゆとりにつながり、そのおかげで安心して勉学に専念できています。本当にありがとうございます。これからも頑張っていきたいと思えます。

「ご支援いただいた給付金は生活に使わせていただき、より一層勉学、研究に励むことといたします。」

畜産学部共同獣医学課程 4 年 畑 耕平



この度は基金奨学金に選考いただきましたことを心より嬉しく思います。私は競走馬の臨床獣医師を志しておりまして、夢の実現に向けて精進する毎日を送っております。12月には研究室に配属する運びとなり、滄木研にて大動物の繁殖に関する研究活動を進める所存です。また、南保研で飼育されている研究用の馬（どさんこ）の世話に参加させていただいておりまして、実際の馬と触れ合いながらその扱い方や生態についても学んでおります。ご支援いただいた給付金は生活に使わせていただき、より一層勉学、研究に励むことといたします。ありがとうございました。

「研究と就職活動の両立が可能となったことで第一希望の就職先に内定をいただき、早期修了できる運びとなりました。」

大学院畜産学研究科畜産科学専攻1年 山崎 藍



この度は帯広畜産大学基金の奨学生として採用していただき、誠にありがとうございます。私は修士課程より原虫病研究センターの研究室に所属し、人獣共通感染症であるトリパノソーマ症の新規制御法の開発に関する研究を行っています。家庭の事情により生活費工面のためアルバイトに時間を割いてきましたが、マウスを用いた実験を行う上でどうしてもうまく両立できず、苦勞する時期がありました。しかしながら奨学生に採用していただいてからは勤務日数を減らすことができ、研究と就職活動の両立が可能となったことで第一希望の就職先に内定をいただき、修士課程を1年で早期修了できる運びとなりました。残りの学生生活も論文執筆に励みつつ、大切に過ごしていきたいと思っています。

「研究に集中できる時間を確保することができ、大学院での充実した学生生活を送れています。」

大学院畜産学研究科畜産科学専攻1年 小南 光



この度は帯広畜産大学基金奨学生に採用していただき、誠にありがとうございました。本奨学金をいただいたお陰で、研究に集中できる時間を確保することができ、大学院での充実した学生生活を送れています。湿地生態系の保全の土台となる自然環境情報の蓄積に貢献すべく、十勝川中流域における河川、湖沼、水路に足を運び、水生植物の生育環境の調査研究を進めています。植物は動物に比べると興味を持ってくれる人は少ないですが、見過ごされている植物情報を次世代に伝えることは確実に将来の環境保全に繋がると考えています。今後も皆様のご支援を賜っていることへの感謝を忘れず、積み重ねた自然環境の専門性を社会で発揮できるよう日々精進いたします。

「本奨学金を受給させていただいたことで研究に集中することができています。」

大学院畜産学研究科畜産科学専攻2年 森田 季恵



私は、エゾフクロウの研究をしており、春から秋は夜間に十勝平野内の森林へ赴き、分布把握調査を行ってきました。今年度は巣箱を用いて繁殖状況の観察も行っており、冬には追加で巣箱の設置を行ってきました。このように、研究のために日々多くの時間を割いていることに加え、野外での調査は天候に左右されやすく予定外に調査を延期することも多いです。そのため、アルバイトに割く時間を確保するのが難しく、本奨学金を受給させていただいたことで研究に集中することができています。奨学生として採用していただいたこと、心より御礼申し上げます。

「皆様のご支援のおかげで、博士前期課程を修了できることに心から感謝します。」

大学院畜産学研究科畜産科学専攻2年 千葉 栞



この度は、帯広畜産大学基金奨学生に採用していただき、誠にありがとうございます。私は学部3年次から家畜育種学の研究室に所属し、統計育種学を専攻しております。卒業研究では乳牛における泌乳曲線を適切に表す数学モデルについての研究を行っていました。現在は、乳牛の体内で産生されるケトン体の乳期中の推移に関する研究を行っています。本奨学金に採用していただいてから、研究活動に使える時間が増え、原著論文の執筆や国際学会への参加など、数々の貴重な経験をすることができました。皆様のご支援のおかげで、博士前期課程を修了できることに心から感謝します。この場をお借りして感謝の意を記したいと思います。

「今後は、興味を持ったことに対して楽しくのびのびと取り組む学生を支援する側に回れるよう、努めてまいりたいと思います。」

大学院畜産学研究科畜産科学専攻2年 大井 和佐



研究活動では、分解菌とそれらがごはんとおうちにいる植物が多種多様に存在している林床において、まるで選んでいるかのように、特定の植物種の枯死体上にきのこを発生させる菌が見られるという現象の背景にある要因を、それらの分解能力に注目し、実験的に明らかにしようと試みました。今後は、興味を持ったことに対して楽しくのびのびと取り組む学生を支援する側に回れるよう、努めてまいりたいと思います。第一希望の研究室に所属し、幼い頃から興味の対象であった「きのこ（菌類）」を出発点とした研究に取り組むことができたのは、授業料の免除や奨学生としての採用があったからにほかなりません。ご支援くださった関係者の皆様に、この場をお借りして心より感謝申し上げます。

「皆様のご支援のおかげで、充実した日々を過ごせていることへの感謝を忘れずに、今後も精進致します。」

大学院畜産学研究科畜産科学専攻2年 東谷 麻央



初めに、帯広畜産大学基金にご寄付いただいた皆様、すべての関係者の皆様に心より感謝申し上げます。私は環境微生物学研究室に所属し、これまであまり知られていなかった、樹洞営巣性フクロウの樹洞木内に生息する菌類やその働きについて研究しています。フクロウの巣材から菌を分離することを主に研究を進めておりますが、実験には多くの時間を要するため、アルバイトをする時間があまり取れないことや家庭の事情から、生活が厳しい状況が続いていました。本奨学金の給付により、アルバイトの時間を減らし、研究や論文の執筆に専念することができています。皆様のご支援のおかげで、充実した日々を過ごせていることへの感謝を忘れずに、今後も精進致します。

「奨学金のお陰で、心置きなく日々の研究活動に励むことができ、生殖工学分野の知見を広げられました。」

大学院畜産学研究科畜産科学専攻2年 尾島 沙来



この度は、帯広畜産大学基金奨学金を授与していただき、誠にありがとうございます。奨学金のお陰で、心置きなく日々の研究活動に励むことができ、生殖工学分野の知見を広げられました。修士論文では『LPS長期曝露による精巣での炎症が精子形成能および受精能に及ぼす影響』というテーマで、主に男性不妊に着目した内容の研究を行い、先日無事に執筆を終えることができました。改めて感謝申し上げます。学生生活を通して得られた知識、技術を活かして、来年度からは不妊治療の現場で胚培養士として不妊に悩む方の支えになる所存です。

「日々精進し、自分がいただいたご恩をいつかお返ししたいと考えております。」

畜産学部畜産科学課程3年 中村 奈三



この度は昨年度に引き続き、授業料の免除をしていただき誠にありがとうございます。私は、多くの人々の命を奪ってきたマラリア感染症媒介蚊を生物的に防除するための研究をしています。1年次から人々の健康や命を守りたいとこの研究に魅了され、取り組ませていただいていたのですが、授業で学んだ知識を身に着けながらの研究に加えてアルバイトをするには一日があまりにも短すぎました。しかし、授業料免除のおかげでアルバイトに割かなければならなかった時間を勉学と研究に費やすことができています。将来は、マラリア感染症への不安を世界から取り除けるような研究者になることを目指して日々精進し、自分がいただいたご恩をいつかお返ししたいと考えております。

「これからも自身の目標に向かって日々邁進して参りたいと考えています。」

畜産学部畜産科学課程 4 年 加藤 結良



帯広畜産大学基金賛助会員、寄附者の皆様のご援助のおかげで、片親の世帯でありながら、4年間の大学の課程を修了する事ができました。私は4年生となったときに、草地生態学の研究室に所属しドローンを利用した放牧地管理の手法について研究を行ってまいりました。私は本大学に入学した動機、目標が、農業に携わる方々の手助けができるようになりたい、というものだったのですが、4年間金銭面で苦しむこともありながらも、授業料免除のお陰様で学びを諦めることなく、継続できたことで、最終的に自身の研究で目標に対して一歩近づくことができました。また、株式会社コーンズ・エージーと言う、酪農機械の専門商社に入社することが決まりましたので、これからも自身の目標に向かって日々邁進して参りたいと考えています。改めて、皆様のご支援、ご協力に深く感謝申し上げます。ありがとうございます。

「皆様のご支援が私に本来ならできていない学びの機会を与えてくださり、私は夢を追い続けることができます。」

畜産学部畜産科学課程 4 年 武田 千花



この度は昨年度に引き続き、授業料の免除をしていただき、誠にありがとうございます。皆様からの多くの温かいご支援のおかげで、金銭面で精神面でも支えられ、研究活動に集中することができています。私は現在、人が利用する環境と砂浜生態系保全の両立を目的に研究を進めています。来年度からは大学院に進学し、目的達成のために研究活動にさらに励んでいきたいと思っております。家庭の事情で金銭的に余裕がない中、皆様のご支援が私に本来ならできていない学びの機会を与えてくださり、私は夢を追い続けることができます。今後も皆様からいただいた御恩を忘れず、授業料免除者としてふさわしい学生および社会人となるよう努めて参ります。この度は誠にありがとうございました。

「多くの支えで今の自分があることを忘れずに、今度は私が支える側になるべく精進していきます。」

畜産学部畜産科学課程 4 年 北川 柊二



この度は、授業料の免除をしていただき、誠にありがとうございます。また、今年度以前でも採用していただいた年があり、大学生活を通して生活面での不安がなかったことは、ひとえに賛助会員や寄附者の方々のおかげであると感じています。現在私は、アマニ油を抽出したものからペクチンを抽出する研究をしています。初めてのことで苦戦しながらも、新たな知識が得られることを楽しんでます。今年度で卒業ですが、最後まで奨学生にふさわしい姿勢で勉学に取り組んで参ります。最後になりますが、これからは社会人として生活していく上で、多くの支えで今の自分があることを忘れずに、今度は私が支える側になるべく精進していきます。

「皆様のご支援のおかげでこのように恵まれた環境で学ばせていただけている事に心から感謝し、今後も勉学に励んでいきたいと思ひます。」

畜産学部共同獣医学課程 5 年 関口かるな



この度は授業料の免除をしてくださり、誠にありがとうございます。私は子供の頃から獣医師になることを志しており、それをシングルマザーでありながら母が女手一つで支えてくれました。アルバイトをすることで母への負担を減らしたかったのですが、勉学や研究でアルバイトに時間を割く余裕がありませんでした。本奨励金を頂けているおかげで勉学や研究に集中することができ、心から感謝申し上げます。現在は生体防御学研究室に所属しており、人獣共通感染症であるバベシア症の新しい治療薬についての研究を行っております。皆様のご支援のおかげでこのように恵まれた環境で学ばせていただけている事に心から感謝し、今後も勉学に励んでいきたいと思ひます。

「家庭への経済的負担を減らすことができ、私も勉学により専念できました。」

畜産学部共同獣医学課程 6 年 中里 和真



この度は帯広畜産大学基金による授業料免除に採用して頂き誠にありがとうございます。授業料免除のおかげで家庭への経済的負担を減らすことができ、私も勉学により専念できました。私はウイルス学研究室に所属し、樹木由来抽出液の A 型インフルエンザウイルスに対する不活化作用に関する研究を行っていました。その研究成果として、樹木由来抽出液のウイルス不活化作用を見出し、さらに作用機序の一部を明らかにしました。今後の更なる研究によって、この樹木由来抽出液を天然由来ウイルス不活化剤などとして応用することで、ヒトおよび家畜における安全で効果的なインフルエンザ予防対策の拡充に貢献できる可能性があります。皆様のご支援によって本学で学べたことを活かし、今後も精進して参ります。

「自分が学んだことをどのように活かせるのか考え、社会に貢献できるよう努めます。」

大学院畜産学研究科畜産科学専攻 1 年 桑島 千紘



この度は大学基金により授業料のご支援を頂き、心より感謝申し上げます。私は、チーズホエイと酒粕を用いた発酵飲料の開発と健康機能性の解析を主なテーマとし研究を進めております。本研究では乳酸菌スターターを用い、より嗜好性の高い発酵飲料が得られる条件についての確立も検討しています。また、副産物に新たな付加価値を見出すことで、現代社会での大きな問題となっている資源の有効活用にも繋がるのではないかと考えています。皆様のご支援への感謝を忘れることなく、今後も社会の様々な問題に目を向け、自分が学んだことをどのように活かせるのか考え、社会に貢献できるよう努めます。

「研究に打ち込めるのもひとえに援助して下さる皆様のおかげです。」

大学院畜産学研究科畜産科学専攻 1 年 梅村 薫人



この度は、授業料免除者として採用していただき、心より御礼申し上げます。授業料免除により、多大な恩恵を受けており、充実した大学生活を送る事ができております。現在、博士前期課程として在学し、絶滅危惧種に指定されているアマミノクロウサギの腸内細菌叢の研究を行なっています。本動物での細菌学分野の研究は、私の所属する研究室が初の試みであり、細菌の培養試験などのプロトコルがなく、全て手探りの状況で実験をしています。培養試験は、結果が出るまで最短で 1 週間を必要とし、それまで失敗しているのか判断できない中で悪戦苦闘しながら研究しています。このように研究に打ち込めるのもひとえに援助して下さる皆様のおかげです。重ねてお礼申し上げます。

「大学院 1 年目という時間の多くを学びの時間に変換できたのは、間違いなく授業料免除のおかげです。」

大学院畜産学研究科畜産科学専攻 2 年 木村ほのか



私にとって大学院 1 年目という時間の多くを学びの時間に変換できたのは、間違いなく授業料免除のおかげです。大学院の研究テーマに「大地震による十勝の四大作物の影響予測」を選びました。日本は地震大国であり、北海道も例外ではありません。また近年の日本の食料自給率低下は無視できない課題となっています。十勝は日本の重要な食料基地だからこそ自然災害の影響に対する対策が必要と考え、災害時、特に全国への影響が大きくなると予想される十勝の四大作物に着目し研究することとしました。学部時代から生かしてもらってきた十勝という地域に、今度は自分が恩返しをするつもりで研究を進めていきたいと思っています。

「今後も皆様からのご支援に感謝の念を持ちながら、畜産の発展に貢献できるよう精進してまいります。」

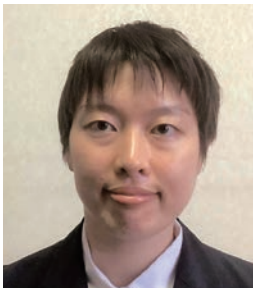
大学院畜産学研究科畜産科学専攻1年 野村 風沙



この度は、帯広畜産大学基金を通して授業料を免除していただき、心より感謝申し上げます。私は大学3年次より家畜育種学の研究室に所属し、画像解析技術ならびに理化学分析を用いて牛肉の価値向上のための研究をしています。研究過程には度重なる困難がありますが、過日には生産者と消費者、双方の笑顔に貢献できる研究結果を論文化することができました。これはひとえに皆様からの暖かいご支援のおかげでアルバイトの時間を減らすことができ、研究活動に専念できたためだと考えております。今後も皆様からのご支援に感謝の念を持ちながら、大学のポリシーである「農場から食卓まで」を考慮した俯瞰的視点で畜産の発展に貢献できるよう精進してまいります。

「金銭面での負担が減り、研究に注力し、学生生活をより有意義に送ることができました。」

大学院畜産学研究科畜産科学専攻2年 森松 沙紀



初めに、帯広畜産大学基金にご寄附をいただいた皆様に感謝を申し上げます。研究室では、牛の抗ミューラー管ホルモン濃度に与える要因や、その牛の繁殖成績について研究をしています。家庭の事情で金銭的な余裕がなく、以前は毎日アルバイトをしていました。しかし、授業料を免除していただいたため、金銭面での負担が減り、研究に注力し、学生生活をより有意義に送ることができました。また、昨年の夏に行われた学会で研究発表をすることもできました。研究に励むことができましたのも、ご支援してくださった皆様のおかげです。今後もご支援いただいた感謝を忘れず、日々精進してまいります。

「この先もいただいたご恩を忘れずに、自分がいただいたご恩をいつかお返ししたいと思っています。」

大学院畜産学研究科畜産科学専攻2年 米山 貴博



この度は、帯広畜産大学基金のご支援により授業料免除をしていただきありがとうございます。家計が厳しい状況でしたが、授業料を免除して頂いたおかげでアルバイトに時間を費やすことなく、学業に専念することができました。私は現在、家畜排せつ物の環境負荷について研究を行っており、メタン発酵施設の経済性と環境負荷の定量化ならびに必要な補助制度について分析を行っております。経済的な事情により苦勞をしている学生達は少なくありません。私はこの度のご恩を心に留めるとともに、この先もいただいたご恩を忘れずに、自分がいただいたご恩をいつかお返ししたいと思っています。今後もご支援いただいた感謝を忘れず、日々精進してまいります。本当にありがとうございました。

令和4年度ちくだいらんぷ事業について

事業を通じて学生の地域志向を育み、卒業後も十勝の応援団として活躍する人材づくりを目的に、学生が中心となり、帯広・十勝の活性化を図る「ちくだいらんぷ事業」の取組を支援しました。「文化・スポーツコース」「地方創成・地域活性化コース」「おびひろ動物園活性化コース」の3コースに分け、学生から企画を募集しました。今年度は全6件の事業を採択し、活動を行いました。

令和5年1月30日、1月31日には事業報告会を実施し、各団体の学生代表が事業の報告をした後、成果や反省点等について話し合われました。各企画の参加者から寄せられた「楽しかった」「もう一度参加したい」「動物の魅力を再発見できた」といった好意的な声も紹介されました。

◇文化・スポーツコース（愛称：「みんなのちくだい。」）

一般財団法人帯広市文化スポーツ振興財団との連携事業で、文化活動やスポーツ活動を通じた畜大生自身による地域貢献活動により、地域の人たちと交流を深められる体験型のコース

団体名	事業名	実施日
カーリング部	世界へ羽ばたけ！カーリング体験	令和4年10月16日
陸上競技部	走る！跳ぶ！投げる！はじめての陸上教室2022	令和4年10月15日
アメリカンフットボール部	アメフトふれあい体験	令和4年12月4日

（採択事業3件）

世界へ羽ばたけ！カーリング体験

地域の小学生を対象とした、カーリング部によるカーリング体験教室を実施しました。帯広ならではのスポーツであるカーリングの魅力を伝え、カーリング競技に興味を持ってもらうことを通じて地域のジュニア競技人口の活性化を図ることを目的に掲げています。



走る！跳ぶ！投げる！はじめての陸上教室2022

陸上競技部による陸上教室を実施しました。地域の子供たちに「走る・跳ぶ・投げる」の陸上競技の3つの要素を体験してもらうことで運動を身近なものとし、陸上を始めるきっかけをつくることを目的としています。



アメフトふれあい体験

地域の子供たちにアメリカンフットボールを知ってもらい、体を動かすことの楽しさを知ってもらうことを目的として、アメリカンフットボール部によるフラッグフットボール体験を実施しました。



◇おびひろ動物園活性化コース（愛称：「ずーぷろ」）

おびひろ動物園との連携事業で、おびひろ動物園を今よりもさらに魅力的にするために、畜大生が自主的に企画するコース

団体名	事業名	実施日
ZOOFUL	おびひろ動物園写真コンテスト2022	令和4年8月～令和5年2月
うしぶ。	おびひろ動物園・ほにゅう類とミルクの不思議	令和4年10月22日,30日
動物園組	五感で学ぼう！ inおびひろ動物園	令和4年10月16日

（採択事業3件）

おびひろ動物園写真コンテスト2022

学生団体ZOOFULは、動物とじっくり向き合う機会を設けることでその魅力を再発見してもらうことを目的として、おびひろ動物園の来園者を対象とした写真コンテストを実施しました。



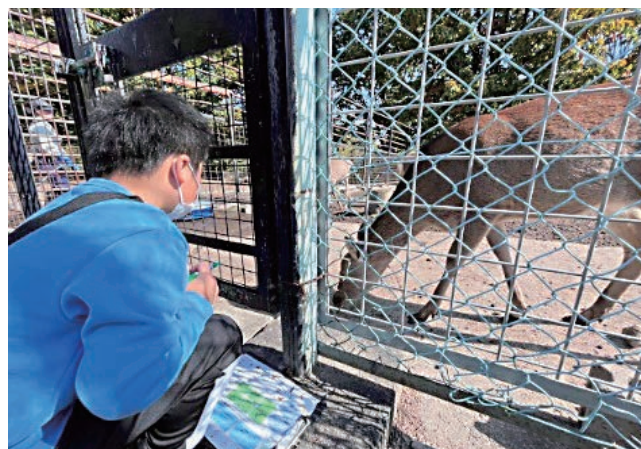
おびひろ動物園・ほにゅう類とミルクの不思議

うしぶ。は、おびひろ動物園で飼育されている哺乳動物について、保育方法やミルクの成分の違いなどについて来場者に楽しく学んでもらい、参加者同士や、学生と地域の人々との交流のきっかけを作ることを目的として、スタンプラリーや展示等の企画を実施しました。



五感で学ぼう！ inおびひろ動物園

動物園組は、普段と違う動物の行動の紹介によって参加者の興味関心を引き出し、継続的におびひろ動物園へ来場する動機づけを目的として、おびひろ動物園で飼育されているシカなどの動物の紹介や観察、プロフィール帳の作成等の企画を実施しました。



ちくだいホームカミングデー 2022を開催

令和4年10月8日（土）に「ちくだいホームカミングデー 2022」を開催しました。「ちくだいホームカミングデー」は、本学の卒業生、修了生及び元教職員の皆様に、再び本学に足をお運びいただき、同窓生や在学生、教職員との交流を深めていただくために開催しているイベントで、帯広畜産大学同窓会・畜大祭実行委員会との共催で開催しました。今回は3年ぶりの開催となり、当日は全国各地から170名を超える参加者にお集まりいただきました。

なお、懇親会費の執行残額24,916円は帯広畜産大学基金へ寄附させていただきました。



講堂前での集合写真



開会式での学長挨拶



学生団体による活動報告



学生寮の見学ツアー



懇親会の様子

寄 附 者 ご 芳 名

【企業・団体等】（68団体）

（五十音順・敬称略）

【100万円】

敷島製パン(株)

【50万円】

日本甜菜製糖(株)

【30万円】

(株)土谷特殊農機具製作所 十勝農業協同組合連合会 宮坂建設工業(株)

【25万円】

帯広信用金庫

【20万円】

(株)ズコーシャ (株)十勝毎日新聞社 ハラデンキ(株)
宮本機械(株) よつ葉乳業(株)

【10万円】

内外施設工業(株) (株)北海道フーズ

【5万円】

十勝信用組合 十勝農協連畜大同窓会 (株)平田建設
北王コンサルタント(株)

【3万円】

北成建材工業(株) 山の下ペットクリニック

【2万円】

NCカード(株) (株)小澤建設 美瑛町農業協同組合

【1万円～1万9千円】

酪農畜産乳業関連・帯広畜産大学有志同窓会

【1万円】

大昭電気工業(株) 富士金網製造(株) YSヤマショウ(株)

【企業名・団体名のみ掲載希望の寄附者様】

(株)アイエイチメンテック	有限会社青田企画巧芸	(株)アクト
(株)伊豆倉組	合同会社エイル	大槻理化学(株)
帯広市川西農業協同組合	帯広商工会議所	帯広地方卸売市場(株)
(株)北口電器商会	(株)笹原商産	士幌町農業協同組合

全国酪農業協同組合連合会	(株)曾我	(株)ダイイチ
大樹町農業協同組合	税理士法人竹川会計事務所	東洋農機(株)
十勝清水町農業協同組合	(有)十勝スロウフード	十勝地区農業協同組合長会
(株)日専連ジェミス	熱原設備(株)	バイオマスリサーチ(株)
北慎建設工業(株)	(株)北海道新聞社帯広支社	北海道農業協同組合中央会帯広支所
三菱商事(株)北海道支社	(株)山本忠信商店	(株)柳月
		不掲載希望等 12団体

[個人・学外] (312名)

(五十音順・敬称略)

【100万円】

奥田 潔

【50万円】

三上 正幸

【20万円】

斉藤 篤 吉田 武徳

【10万円】

今田 忠夫	加藤 道博	齋藤 幸子	田頭 静	田和 恵
林 克昌	村岡 誠彦	村上 豊	諸角 元二	

【6万円】

横尾 博

【5万円】

浅沼 敏生	石森 久雄	繁田 裕子	出口 宣夫	名和 靖史
山中 健司				

【4万円】

菅野 典雄

【3万円～3万9千円】

池下 圭三	池田 奉昭	坂井 清治	白浜 潤	中村 隆宏
三浦 輝雄	安田 昌英			

【2万円～2万9千円】

伊織 美保子	石川 諭史	市村 豊	印牧 馨	小山 洋
澤田 拓士	平野 文子	細川 誠	松田 孝志	森井 恒幸
山本 哲也				

【5千円～1万円】

石田 雅嗣	伊藤 邦博	稲田 一郎	乾 英二	岩佐 博仁
植田 健仁	宇草 哲夫	内山 和夫	海村 正義	大西 博
大宮 良文	長南 隆夫	折橋 秀夫	恩田 求	影山 晴久
勝俣 和悦	亀尾 勇人	川島 徹	川原 勝則	久保田 政男
倉富 聡	佐藤 基佳	下道 宏作	白澤 昌彦	砂川 敏文
芹澤 駿治	高木 俊雄	高橋 英三	高橋 繁男	高橋 次夫
高橋 勉	辻 修	西 武久	野川 浩道	濱崎 裕
早坂 貴代史	早坂 純一	林 俊克	原田 弘智	深沢 晃
別所 明	益田 邦郎	松田 尚文	宮本 道男	森田 邦雄
八重樫 伸男	山本 誠次	横沢 冲彦	横山 敏	和田 明
渡辺 順				

【氏名のみ掲載希望の寄附者様】

相場 武	浅倉 幾美	芦澤 明	有沢 道朗	有田 大作
池永 雅一	石川 智之	石田 正人	伊藤 隆範	稲垣 和雄
猪子 敏夫	岩波 道生	宇井 三喜子	上田 佐代子	遠藤 洸介
大内 聖和	大芝 英明	大杉 雄毅	太田 修一	大竹 敏恵
大友 秀文	岡 初次	奥田 善基	奥村 隆雄	小原 裕光
角正 美雪	梶 隆	加藤 喜市	鎌田 隆	河口 和吉
川崎 寧	川田 泰正	川村 雅貴	神林 昌也	久住 正博
久保田 学	高良 和恵	高良 広之	古賀 元美	小西 正人
小林 公子	小林 幹子	近藤 鍊三	齋藤 温子	齋藤 敦子
斉藤 正明	斎藤 政克	酒井 國雄	坂口 加奈	櫻井 浩
佐村 久夫	柴田 雄二	島 哲哉	島貫 正道	白井 茂雄
白戸 綾子	新酒 英暁	鈴木 光則	住友 寛	関口 雄介
瀬子 明代	園田 眞	高嶋 浩一	高橋 セツ子	高橋 直記
高橋 秀清	高橋 やす子	高畠 孝一	高松 彰義	竹内 優貴
竹迫 紘	竹迫 真樹	太島 聰	田中 静幸	田中 秀明
丹野 久夫	千田 仁之	辻本 宗裕	敦賀 謙一郎	東條 雅彦
中川 欣三	南部 実	西岡 麻美	西田 讓	西村 達弥
新田 隆典	野本 優二	羽柴 清志	蜂谷 進	羽田 昭夫
林 三千恵	久野 紀子	広瀬 春行	深澤 秀夫	福本 幸久
藤村 裕一	星野 敏伸	増本 多喜子	丸橋 貴美枝	丸山 純孝
三浦 和郎	密本 眞弓	三原 正士	宮崎 達也	宮原 達史
三好 雅史	村林 宏	紅葉 昭彦	森本 英敬	矢島 大彰
矢島 裕一	山口 佳男	山崎 孝雄	山下 博司	山根 留美
山保 浩之	山本 素子	勇川 順子	楊 仕元	横山 誠人
吉田 定弘	吉野 英治	吉野 眞行	米田 裕紀	米山 修
和田 芳昭	渡辺 睦実			

不掲載希望等 95名

[個人・学内] (138名)

(五十音順・敬称略)

【10万円～20万円】

井上 昇 長澤 秀行

【5万円～9万9千円】

大坪 秀典 野並 雅章

【1万円～4万9千円】

大林 姿子	岡田 繁	小川 晴子	小田 賢一	笠原 誠人
嘉屋 元博	川島 千帆	川村 正洋	木下 林太郎	草場 信之
口田 圭吾	窪田 さと子	佐藤 健一	高橋 伸治	手塚 雅文
中野 昌明	西田 慎吾	福島 道広	福田 健二	舛川 正晃
三宅 俊輔	村上 徹	村西 由紀	森 正彦	柳川 久
和田 大輔				

【～9千円】

生田 和哉	石割 厚希	押田 龍夫	海田 芳隆	加藤 豊
木村 美紀	玄 学南	坂本 さや香	杉田 帆奈美	千葉 三都希
津野 由希	中島 司典	花田 正明	堀田 努	矢吹 衣理奈
山口 将	若木 海理			

【氏名のみ掲載希望の寄附者様】

相内 大吾	麻田 正仁	穴澤 清幸	有安 友美	石井 利明
梅津 一孝	大川 晶由里	大西 一光	岡村 雅史	落合 いずみ
春日 純	茅野 光範	川畑 秀伸	木村 賢人	耕野 拓一
後藤 達彦	齋藤 謙一	斉藤 準	高橋 良江	田上 正明
武田 洋平	武山 暁子	田中 秀樺	谷 昌幸	塚本 孝志
David Campbell	得字 圭彦	南保 泰雄	西田 武弘	早坂 美穂
東 陽介	古岡 秀文	松井 基純	松本 高太郎	松元 志帆
間宮 光岳	宗岡 寿美	村田 浩一郎	山崎 栄樹	山本 涉
吉野 綾華	渡辺 純			

不掲載希望等 49名

感謝状の贈呈

このたび、大学基金に対して多大なご支援をいただいた帯広地方卸売市場株式会社、全国酪農業協同組合連合会、東洋農機株式会社、十勝道路株式会社、今田忠夫氏並びに出口宣夫氏に対し、長澤秀行学長より感謝状を贈呈しました。

この感謝状は、大学基金で定める「謝意表明の基本方針」に基づき、大学基金が創設された平成22年4月以降、企業・団体等にとっては累計100万円以上、個人にとっては累計50万円以上のご寄附をいただいた方に対して贈呈するものです。



帯広地方卸売市場株式会社
高嶋昌宏代表取締役社長と長澤学長（左から）



東洋農機株式会社高橋洋一専務取締役と
長澤学長（右から）



十勝道路株式会社山口富仁代表取締役社長と
長澤学長（左から）



今田 忠夫 氏と長澤学長（左から）



全国酪農業協同組合連合会及び出口宣夫氏への贈呈

帯広畜産大学基金運営委員会委員名簿

構成員 14名（任期2年：令和4年4月1日～令和6年3月31日）

	職 名	氏 名
委員長	帯広畜産大学 学長	長澤 秀行
委 員	宮坂建設工業(株) 代表取締役社長	宮坂 寿文
	日本甜菜製糖(株) 上席執行役員	田村 雅彦
	よつ葉乳業(株) 執行役員十勝主管工場長	池浦 二郎
	帯広商工会議所 会頭	川田 章博
	帯広信用金庫 理事長	高橋 常夫
	(株)十勝毎日新聞社 代表取締役社長	林 浩史
	(株)土谷特殊農機具製作所 会長	土谷 紀明
	(株)ズコーシャ 代表取締役会長	関本 裕至
	特定非営利活動法人十勝障がい者支援センター 理事長	門屋 充郎
	帯広畜産大学同窓会 会長	西田 譲
	帯広畜産大学 副学長	古林与志安
	帯広畜産大学 副学長	仙北谷 康
	帯広畜産大学 副学長	中野 昌明

帯広畜産大学基金規程

平成22年 1月21日規程第1号

制 定

改正 平成28年 7月29日規程第30号 平成29年 3月28日規程第15号

令和4年 4月 1日畜大規程第1号

(設 置)

第1条 帯広畜産大学（以下「本学」という。）に、経済的理由により修学に困難がある学生等を対象とした修学環境を支援するための基金として学生修学支援事業基金を、また大学運営及び社会貢献に関する活動を支援するための基金として大学運営支援事業基金を置く。

(学生修学支援事業基金)

第2条 学生修学支援事業基金は、次の各号に掲げる事業の用に供するものとする。

- (1) 授業料、入学料又は寄宿料の免除等の経済的負担の軽減を図る事業
- (2) 学費を貸与又は給付する事業
- (3) 海外留学費用を給付する事業
- (4) 教育研究業務に従事させるための雇用経費を支給する事業

2 学生修学支援事業基金は、前項に定める事業を寄附目的とする寄附及びその運用による果実をもって構成する。

(大学運営支援事業基金)

第3条 大学運営支援事業基金は、次の各号に掲げる事業の用に供するものとする。ただし、前条第1項に掲げる事業を除く。

- (1) 教育研究環境の整備に関する事業
- (2) 社会貢献活動の支援に関する事業
- (3) 産業界又は同窓生との連携に関する事業
- (4) その他本学運営のために必要な事業

2 大学運営支援事業基金は、前項に定める事業を目的とする寄附及びその運用による果実をもって構成する。

(基金の管理)

第4条 学生修学支援事業基金及び大学運営支援事業基金（以下「各基金」という。）は、この規程及びこの規程に基づく定めによるほか、国立大学法人北海道国立大学機構寄附金取扱規程（令和4年度機構規程第88号）により寄附の管理を行うものとする。

(基金の使途)

第5条 学長は、各基金の寄附の受入の決定にあたり、寄附者があらかじめ使途を特定しない場合においては、これを特定しなければならない。

2 各基金に対して納付された寄附金の使途は、変更してはならない。

(基金の運営)

第6条 各基金はそれぞれ区分して経理することとし、その運営は、各基金毎に受け入れる寄附及びその果実をもって充てる。

2 各基金の運営に関する重要事項の審議は、帯広畜産大学基金運営委員会（以下「委員会」という。）が行う。

3 委員会の組織運営等については、別に定める。

（賛助会員）

第7条 各基金の目的に賛同する者は、賛助会員となることができる。

2 賛助会員及び賛助会費に関し必要な事項は、別に定める。

（事業年度）

第8条 各基金の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わるものとする。

（庶務）

第9条 各基金の庶務は、関係課等の協力を得て、企画総務課において処理する。

（雑則）

第10条 この規程に定めるもののほか、各基金の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、平成22年1月21日から施行する。

附 則（平成28年7月29日規程第30号）

この規程は、平成28年7月29日から施行し、平成28年4月1日から適用する。

附 則（平成29年3月28日規程第15号）

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

附 則（令和4年4月1日畜大規程第1号）

この規程は、令和4年4月1日から施行する。

帯広畜産大学基金賛助会員規程

平成22年1月21日規程第2号

制 定

改正 平成28年7月29日規程第31号 令和4年4月1日畜大規程第1号

(趣 旨)

第1条 帯広畜産大学基金規程（平成22年規程第1号）第7条第2項の規定に基づき、帯広畜産大学基金（以下「基金」という。）の事業活動をより充実したものとするため、この規程を定める。

(賛助会員)

第2条 賛助会員は、基金の目的に賛同し、継続的に事業に協力するものであって、この規程に定める賛助会費を納付した者とする。

(賛助会費)

第3条 賛助会費の額は、次のとおりとし、1口以上を申し込むことができる。

- (1) 個人会員の場合は、1口年額5千円とする。ただし、教職員については、1口月額500円として申し込むことができる。
- (2) 法人・団体会員の場合は、1口年額1万円とする。

(賛助会員の脱会等)

第4条 賛助会員が賛助会費を納付しない時は、脱会したものとみなす。

(賛助会費納付金の運用)

第5条 賛助会員から納付された賛助会費は、基金の運用財産収入又は基本財産収入として経理し、運用する。

附 則

この規程は、平成22年1月21日から施行する。

附 則（平成28年7月29日規程第31号）

この規程は、平成28年7月29日から施行する。

附 則（令和4年4月1日畜大規程第1号）

この規程は、令和4年4月1日から施行する。

帯広畜産大学基金運営委員会細則

平成22年1月21日細則第1号

制 定

改正 平成24年2月16日細則第12号 平成27年6月2日細則第7号

平成28年5月24日細則第4号 令和4年4月1日畜大細則第1号

(趣 旨)

第1条 この細則は、帯広畜産大学基金規程（平成22年規程第1号）第6条第3項の規定に基づき、帯広畜産大学基金運営委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(任務)

第2条 委員会は、帯広畜産大学基金（以下「基金」という。）の管理及び運営に関する次に掲げる事項について審議を行う。

- (1) 事業計画に関する事項
- (2) 基金の予算及び決算に関する事項
- (3) 寄附の受け入れ及びその運用に関する事項
- (4) 寄附者への謝意表明の基本方針に関する事項
- (5) その他基金の管理及び運営に関する重要事項

(組織)

第3条 委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 学長
- (2) 副学長のうち、学長が指名する者
- (3) 帯広畜産大学の役員及び職員以外で大学に関し広くかつ高い識見を有するもののうちから、学長が指名する者 若干人
- (4) 帯広畜産大学同窓会役員の中から学長が指名する者 若干人
- (5) その他学長が必要と認めた者 若干人

(任期)

第4条 前条第3号から第5号までの委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠又は増員による委員の任期は、前任者又は現任者の残任期間とする。

(委員長)

第5条 委員会に委員長を置き、学長をもって充てる。

- 2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 3 委員長に事故があるときは、委員長が指名した委員が、その職務を代行する。

(会議)

第6条 委員会は、委員の過半数が出席し、かつ、第3条第3号の委員のうち少なくとも1名が出席しなければ、会議を開くことができない。

- 2 議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委員以外の者の出席)

第7条 委員長が必要と認めたときは、委員以外の者を会議に出席させ、説明又は意見を聴くことができる。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、関係課等の協力を得て、企画総務課において処理する。

(雑則)

第9条 この細則に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

1 この細則は、平成22年1月21日から施行する。

2 この細則施行後、最初に任命される第3条第3号、第4号及び第6号の委員の任期は、第4条の規定にかかわらず、平成26年3月31日までとする。

附 則（平成24年2月16日細則第12号）

この細則は、平成24年2月16日から施行する。

附 則（平成27年6月2日細則第7号）

この細則は、平成27年6月2日から施行する。

附 則（平成28年5月24日細則第4号）

この細則は、平成28年5月24日から施行し、平成28年4月1日から適用する。

附 則（令和4年4月1日畜大細則第1号）

この細則は、令和4年4月1日から施行する。

発 行 令和5年6月
編集発行 国立大学法人北海道国立大学機構
帯広畜産大学
企画総務課 基金・広報係
所 在 地 〒080-8555
北海道帯広市稲田町西2線11番地
電話番号 (0155) 49-5219
<https://www.obihiro.ac.jp/fund>
